

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	スーパー（販売担当）	・近くに大きな公園があるため、花見の需要が見込める。
	◎	タクシー運転手	・年度初めの3～4月は、サラリーマンの転勤や異動と行楽シーズンが重なり、稼働が良くなる。
(東海)	○	商店街（代表者）	・景気は順調に回復しており、この先も良い状況が続くと考えるが、その反面、コロナ禍によるダメージが大きく借入金返済できないという人もいるため、急激な好転は望めない。
	○	一般小売店〔高級精肉〕 （常勤監査役）	・全体的に賃上げの方向である。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・人の集まる機会は増加傾向にあり、歓送迎会のシーズンでもあるため飲食店の景気が良くなる。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症は第10波が拡大中であり、収束はいまだみられない。回復はまだ道半ばである。
	○	一般小売店〔和菓子〕 （企画担当）	・大企業を中心に景気は回復しているが、中小企業ではまだ賃上げ等非常に難しい問題がある。
	○	百貨店（総務担当）	・暖冬により、春物の衣料品や化粧品などの動きが活発化すると想定している。バレンタイン催事も、このまま売上を大きくけん引すると考えられる。春節ということもありインバウンド需要の増加も引き続き期待できる。今春の企業の賃上げがどこまで消費に回るかに期待している。
	○	百貨店（企画担当）	・前年以来、景気は上向きに推移している。原材料コストや人的コストの上昇に伴って多くの商品が値上げしているが、消費者には受け入れられており、少し高くても良い物を購入したいという志向がみられる。また、株価の上昇に伴い富裕層顧客の購入の更なる活性化が期待でき、インバウンド増加による消費の拡大も続いており、この傾向はもうしばらく続く。
	○	スーパー（店員）	・毎月のような値上げが落ち着いても客は安い商品を選択する傾向があるため、当社としては強みがある。
	○	スーパー（支店長）	・物価上昇に伴い、来期に向けて企業の賃金アップや政府の景気対策に期待したい。個人の収入アップを大前提として施策を講じていかない限り、経済が上向きになることはない。
	○	スーパー（販売担当）	・いろいろと行事が増えるので、購買意欲が増す。
	○	コンビニ（企画担当）	・インバウンドは着実に回復しており、この傾向は当面継続するとみる。国内での人の動きは、現状がアフターコロナでの通常であり、大きな変動はないと考える。
	○	コンビニ（エリア担当）	・春に向かって来客数が増えることで、おにぎりや弁当などのメイン商材の売行きが伸長する。本年は新型コロナウイルス感染症による規制もないため、伸び率は高くなる見通しである。
	○	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているようだが、特に売上に影響することはない。気温の上昇とともに売上は順調に回復する見込みである。
	○	コンビニ（店長）	・4月に入り新生活になることで、環境が変化する。
	○	コンビニ（店員）	・新年度を迎えるため、新入生や新入社員など新規客の来店が期待できる。
	○	衣料品専門店（店長）	・事業拡大や従業員の新規採用により制服を新調する気運が、法人客にはみられる。一般客では、賃上げのため若しくは節約疲れからか、アウトドア用品など趣味商品の購入が増えている。
	○	衣料品専門店（売場担当）	・年間販売量の主な動きは1～3月で決まる。3月が1番の繁忙期になるため期待できる。ただし、4月に入るとぐっと落ち込む。
○	家電量販店（店員）	・高単価商品の見積りを出す機会が多くなってきた。	
○	家電量販店（営業担当）	・冬物商材が売れない足元よりは、新入学や新生活の需要で動きが出てくる。	
○	乗用車販売店（従業員）	・問合せに具体的な内容が多く、家族を巻き込んだ話もあるため発注の確度が高い。それだけで決定的に景気が良くなるとは言いが切れないが、見通しは明るい。	

<input type="radio"/>	乗用車販売店（営業担当）	・繁忙期を迎え来客数が増えてきたところで大雪に見舞われ、販売だけでなくサービスの客足も一瞬落ちたが、この時期は対象客が多いため、春までは良くなる見通しである。その後については、不透明な要素が多い。
<input type="radio"/>	乗用車販売店（販売担当）	・1月は毎年販売量が少ないため、今後2～3か月先の販売量は増加する見込みである。ただし、現状よりは良くなるが厳しい状態は続く。
<input type="radio"/>	住関連専門店（営業担当）	・新築住宅、マンション関連は低調だが、リフォームや中小規模の改修工事は多くなっている。商業施設についても改修工事が動き始めている。
<input type="radio"/>	その他小売 [ショッピングセンター]（経理担当）	・賃上げの動向がポイントである。消費マインドの上昇を期待する。
<input type="radio"/>	高級レストラン（経営企画）	・政府の施策等による効果を期待できるが、原料価格の高騰や人件費の上昇に対する価格転嫁をどこまで進められるか、業態や店舗等により格差が生じる。
<input type="radio"/>	一般レストラン（経営者）	・店舗外でのイベント販売は上向きなので、イベント販売に注力していきたい。
<input type="radio"/>	その他飲食 [仕出し]（経営者）	・ここ数年の停滞感から早く抜け出したい思いが、良い雰囲気につながれば、景気は良くなっていく。
<input type="radio"/>	都市型ホテル（総支配人）	・春の需要拡大に期待する。
<input type="radio"/>	旅行代理店（経営者）	・来客数及び問合せ件数が増えている。
<input type="radio"/>	旅行代理店（経営者）	・もう少し時間がたてば能登半島地震の影響も落ち着き、北陸応援割も始まるため、旅行業界の景気は上向き見込みである。
<input type="radio"/>	旅行代理店（経営者）	・ゴールデンウィークの旅行計画が進展中である。インバウンドの影響で国内外共に数日で価格変動する商品もあり、旅行プランを提供する側としては苦慮している。テレビの旅番組やクイズ番組でも海外ロケがようやくスタートし、旅行や海外に関連する番組も増えてきた。台湾方面が人気のようで、問合せも増えている。ただし、天候や能登半島地震の影響も心配であり、依然として新型コロナウイルスの新規感染者数も増えているため、旅行予約が確定しても出発までは心配が続く。旅行需要の安定に向けた十分な配慮が求められる。
<input type="radio"/>	旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなど季節性の感染症の流行がみられるが、旅行需要に大きな影響はみられない。特に団体旅行の計画や、海外旅行も少しずつ回復しており、今年は更に増えていくと推測する。
<input type="radio"/>	通信会社（企画担当）	・自動車製造関連の会社が多い土地柄で、長期的には不透明だが、短期的には上向いていくと予想する。地元の手自動車メーカーも、コスト第一主義から変わりつつあるようにみえる。
<input type="radio"/>	パチンコ店（経営者）	・良くなると思わないとやっていけないが、実際に売上は伸びてきている。プラス思考、ポジティブな考えを発信することで、周囲にも良い影響があることを期待する。
<input type="radio"/>	美容室（経営者）	・徐々に卒業式や入学式などのイベントが増えてくるため、それに合わせて来客数も増加する。
<input type="radio"/>	住宅販売会社（従業員）	・3月の期末に向けて、上向いていくと予測する。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・全て順調に進んでいる。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・若い人の買物の様子をみていると、当分このままの状態が続くとみられる。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・地域家電専門店の客層は、年金生活者の割合が量販店に比べて高い。新規購入よりも買換え需要が主になるため、付加価値の高い商品よりシンプルで安価な商品の方が好まれる。したがって、現状維持ができればよい程度である。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [結納品]（経営者）	・新型コロナウイルス感染症によって落ち込んだ消費がそのまま戻っていない。元日に起きた能登半島地震で、消費マインドが更に低下している。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [生花]（経営者）	・物価の上昇に賃金の上昇が追い付かない限り、足元の傾向は続く。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [果物]（店員）	・3か月ほどでは変わらない。

<input type="checkbox"/>	一般小売店 [生活用品] (販売担当)	・新年早々から心穏やかではいられない出来事が続いたため、消費の自粛がしばらく継続する。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (売場主任)	・メーカーが生産を控えているのか、余り店舗で在庫を持たなくなった。客も、即決ではなく取り置きをする人が増えた。1週間の取り置きに応じているが、1週間たっても再来店がなくキャンセルになることもしばしばある。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (経理担当)	・インバウンド消費は拡大が続くが、インバウンド以外の一般消費についてはコロナ禍からの反動消費が一巡することで結果的に相殺となり、景気は現状の水準にとどまる。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (営業担当)	・来客数は増加傾向であるが、客の購買意欲が減退しつつあるように見受けられる。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (販売促進担当)	・東南アジア全域、特に中国からの訪日を期待し、現状を維持していくと予測している。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (販売担当)	・春節でインバウンド需要の期待が高まるが、継続していくかは何ともいえない。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (販売担当)	・正月やバレンタインなどイベントに対する購買意欲は高い。自分局の買上が増加している。
<input type="checkbox"/>	スーパー (経営者)	・来客数は増加していると感じるが、そのまま売上増加にはつながっていない。売上は前年比20%ほどの増加であるが、原価も上がっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・チラシ掲載の売価を安くしたり、ポイントを付与したりして販売促進を強化しても、来客数に回復の兆しがみられない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店員)	・能登半島地震の影響で、消費者には心理的にぜいたくを控えようという雰囲気が見受けられる。野菜や果物は、地震による大きな影響を受けていないため、このまま推移するとみられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店員)	・先の見通しについては、何とも言いようがない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (販売担当)	・足元の来客数減少が能登半島地震の影響による一時的なものであれば、回復は可能である。景気回復には売手側の工夫が必要になってくる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (店長)	・毎年2月は商品が動かないため、景況感是不変わる。春先から新商品が発売されたり賃上げが具体化すると、景気も良くなるかもしれない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (本部管理担当)	・売上は、来客数と客単価の掛け算と考えると、小売業界では、来客数は横ばいが続くなか客単価の上昇で売上は増加している。客単価の上昇は物価高によるので、小売業界の経営努力や景気回復が売上を押し上げているかは疑問である。将来の景気に関しては、肌感覚として予断を許さない状況が継続していると考ええる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (経営者)	・ますます既存顧客が中心となる、買える人しか買えない商売になっていく。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (売場担当)	・世間では賃上げで盛り上がっているが、実際に恩恵を受ける従業員は、大手企業を含めほんの一握りであり、中小企業を始めとした多くの企業で働く従業員は、賃上げの恩恵を受けるとは考えづらい。こうした点を考慮すると、景気が良い方向に向かうとは考えられない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (販売企画担当)	・メーカーにも新商品の提案を行っているが、反応は今一つで、現状維持に見受けられるメーカーが多い。
<input type="checkbox"/>	家電量販店 (フランチャイズ経営者)	・地上デジタル移行から12年がたち、テレビの買換えが堅調である。4Kやネット動画も視聴できるので、買い換えるメリットを訴求して売上に近づきたい。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (営業担当)	・物価高のせいで、賃上げされても給料が増えたという実感が無い。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (経営者)	・中小企業・事業者での景気浮揚は簡単ではないとみられる。そこが変わってこない、なかなか景気回復の実感は得られない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (経営者)	・メーカーの今後の見通しが、現時点では分からない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (従業員)	・年度末を迎えるが、さほど購買意欲が高まるとは考えづらい。これから手取り収入が増える期待が高まれば、財布のひもも多少は緩くなるが、なかなか消費者の気分を高揚させるような施策は難しいと予想する。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・生産は確実に回復してきて、最低でも数か月掛かっていた車種も1か月ほど入荷してくるようになった。ただし、販売の方が思わしくない。他メーカーで販売停止になった車種が多く比較検討ができないため、しばらく模様眺めの客も多い。なかなかうまくいかない状況が続くとみる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・基本給の底上げが検討されているようだが、そこからいくらかでも外食費に回ることを期待する。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・景気が上向いているようなニュースを耳にするが、自分の周りでは目立った動きはない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・賃上げと物価高がネックになる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（スタッフ）	・能登半島地震が発生した影響で、今後が見通せない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	・新型コロナウイルス感染症の発生を境に客の生活スタイルが変わり、家飲みが増えて飲みに出掛ける回数が減った。飲みに行っても1件で帰り、2件目に行くことはほとんどない。帰宅時間も以前と比べて大分早くなり、22時以降はほぼ皆無である。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・市場環境への対応が円滑に進んでいる客先と、そうではない客先があり、差が激しい。淘汰されていくという印象はあるが、販売量は変わらない見通しである。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・企業や団体客の動きによって変わる。北陸応援割等の観光支援も始まるため、今よりも悪くなることはないと考えるが、団体客の動きは経済状況に大きく左右されるので判断が難しい。前年は全国旅行支援の終了間際に客が殺到したが、今年はそのような後押しする要因がないため、成り行きに任せるしかない。今後悪い材料が出てこなければ、大きくは変わらない見込みである。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（従業員）	・予約数から判断した。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・能登半島地震の復興支援により少し需要が見込めるが、まだ不確定である。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・インバウンドなど外国人を相手にしている店以外は客の取り合いとなる。県内では大都市以外で残っていた百貨店が1月末に閉店し、隣県の百貨店も閉店が決まっている。縮小均衡社会のなかで、景気は変わらず徐々に縮小していく。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・交通機関や観光関連施設での人手不足の影響で、人気の観光地については、春シーズンもすぐに受入れ側で飽和状態になると見込まれる。北陸地方の観光支援等に関しては、単純な割引制度ではなく、需要の分散を図る施策を講じてほしい。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・年が明けて多少は客の動きがあるが、2月は余り期待できないため変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・特に変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・1年前と比べれば上向きとを感じるが、3か月前という短いスパンで見ると現状から良くなるとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク職員（総務担当）	・1月前半は12月に引き続き入園者が前年と比べて多かったが、後半の伸びはなく、勢いが弱まっている。
<input type="checkbox"/>	観光名所（案内係）	・春になって値上げや天候不順の影響がどう出てくるか、皆目見当が付かない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（支配人）	・3月の予約数は前年同日を上回っており、今後の天候が平年並みであれば、景気はこのまま変わらず推移する見込みである。今年は開場50周年記念のイベントを順次予定しており、入場者数の増加に拍車が掛かる見通しである。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・観光列車のリニューアルや新規車両導入などを控えているため、客が興味を持って利用につながることを期待している。
<input type="checkbox"/>	美顔美容室（経営者）	・寒い時期は体調を崩す人が多く、来客数に影響する。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・春が近づき、客の入りが良いことを期待する。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・しばらくは横ばいが続く。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・企業の設備投資や個人のリフォーム工事で見積依頼が若干増えているが、数か月先の物件まで確保できる量ではないため、足元と同程度と考える。

	□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・繁忙期が終わるため、余り期待ができない。
	▲	百貨店（営業担当）	・株価上昇に伴い金融資産としては増えているものの、具体的な消費行動にはつながっておらず、相変わらず財布のひもが固い状況が続く。
	▲	スーパー（店長）	・今後も単価上昇から、買い控えが続くとみられる。
	▲	スーパー（店員）	・担当カテゴリーで値上げを控えている。
	▲	スーパー（営業企画）	・商品価格上昇の影響が徐々に始まっており、今後更に大きくなると予測する。
	▲	スーパー（総務）	・自社でも大幅な経費削減が進んできた。早期退職や売場縮小の可能性など不安材料しかない。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・能登半島地震の発災によって、インバウンド消費は激減していく。
	▲	コンビニ（店長）	・前年の度重なる価格変更が一段落したと思いきや、値上げ予定商品の発表がまだまだ続いている。コンビニでは、カップラーメンを200円以下では買えなくなり、いったい何を売ればよいのか悩む現場の状況である。
	▲	コンビニ（商品企画担当）	・値上げによる客単価上昇の効果が一巡し、来客数の増加も見込めないことから、売上はやや厳しくなると予想する。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・人気車種で販売停止が多数あり、客が希望しても商談も販売もできない。今後も納期まで時間が掛かり、改善までの販売停止が続く見込みである。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・政治に対する不信感があり、むしろ不信感は今後高まるため、景気は悪くなる。
	▲	観光型ホテル（支配人）	・2～3月上旬にかけては前年比で予約数が少ない。3月下旬以降は予約数がやや多い水準であり、来客数の増加が期待できる。
	▲	理美容室（経営者）	・客からは、物価ばかり上がって給料は上がらないという声を聞く。この状況では景気は悪くなる。
	▲	美容室（経営者）	・円安が解消されない限り、景気は良くならない。
	▲	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・4月に介護報酬の改定があり、レンタル商品の上限価格が見直され、価格を下げざるを得ない状況である。
	▲	設計事務所（職員）	・政治資金の問題は解決まで随分時間が掛かるとみられ、このような状況下では、景気が良くなることはない。
	▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・見積り依頼はあるものの、様々な材料の価格高騰でコストがかさみ、施主は二の足を踏んで大半が見送りになっている。物価高騰が落ち着くまで、まだまだ厳しさが続く。
	×	商店街（代表者）	・ウクライナや中東での戦禍が終息をみせないなかで、中国経済停滞の影響や近隣地域での紛争リスクも含めて、更に厳しい状況が続くとみられる。
	×	スーパー（店長）	・継続的に値上げされている。
	×	タクシー運転手	・政治資金の問題で政治への信頼感が揺らいでいる。
	×	設計事務所（経営者）	・先の見込みが全くない。
	×	住宅販売会社（従業員）	・能登半島地震の影響もある。
	×	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・根本的に人口減少が続く限り、上向くということが考えられない。
企業 動向 関連 (東海)	◎	*	*
	○	食料品製造業（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して初めての春を迎え、購買意欲の高まりに期待したい。
	○	化学工業（営業担当）	・電材向け需要が底を打って、徐々に回復傾向となる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・4月で年度が替わるため、客先業界で店舗の新たな設備投資に期待を持てる。
	○	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・社内のほとんどの部門で人員の追加を始めたので、景気は上向いている。
	○	輸送業（エリア担当）	・取引先の経済活動が活発化している。
	○	金融業（従業員）	・自動車業界、不動産業界や旅行業界等で全般的に景気が上向いているという声が多い。円安等の不安がある割には、海外旅行へ出掛ける客も実際に増えている。
	○	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・日本銀行のゼロ金利政策継続は正しいと考える。円安の長期化は生産の自動化を促進し、より日本が強くなるチャンスである。自社の新製品も順調に売行きを伸ばしている。
	□	食料品製造業（営業担当）	・景気が回復する要因が見当たらない。

<input type="checkbox"/>	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・例年と比べ今月は好調に推移し、悪い材料も余りがないため、このままの状況が続く。
<input type="checkbox"/>	化学工業（総務秘書）	・4月からアフターコロナでの新しい期が始まる。企業でも一堂に会する行事が5年ぶりに復活する。我が国は国際競争力が低下しているため、著しく好況になると楽観はできないが、新常态が始まるため、景況感が後退するとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（社員）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着き、円安も落ち着いたことで原料価格が安定し、受注量も安定してきたので、しばらくは現状維持の見通しである。
<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（従業員）	・外注費、運送費や様々な資材価格が高騰し、利益の確保が本当に難しくなっている。
<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから判断した。
<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（営業担当）	・国内、海外共に引き合いが少なく、好転する要素が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（企画担当）	・中国の景気悪化は既に織り込まれているため、当面は現状を維持できる。
<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量が前月比マイナスの案件が多い。
<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・今の政策では賃金の引上げは見込めず、景気が良くなる気がしない。
<input type="checkbox"/>	建設業（役員）	・不動産物件は資材高騰により販売価格が上昇しているため、客の予算とかい離がある。他社との競合もあり、まだまだ苦戦する見込みである。
<input type="checkbox"/>	建設業（営業担当）	・当社は委託業務が中心のため、年度末に向けては今受注している案件をこなすだけで基本的には変わらない。他業種の仕事を受けている同業他社からは、余り受注がないという話を聞く一方、能登半島地震関連の作業が入っているという業者もあるため、全体としてはどちらともいえない。
<input type="checkbox"/>	輸送業（従業員）	・輸送業は経費増加による運賃への価格転嫁がなかなかしづらい弱い立場であり、値上げができるかどうかによる。変わらないというよりも、判断が難しい。
<input type="checkbox"/>	輸送業（従業員）	・個人消費の好調が企業間物流に直結していない。自動車や建築関連の需要が高まれば、中小企業等にも波及する可能性が高い。
<input type="checkbox"/>	輸送業（エリア担当）	・物流業者は荷主に運賃値上げを要求し、荷主はその客に、その客はまた取引先へと最終的にはエンドユーザーに価格転嫁を依頼する。エンドユーザーである一般消費者が価格転嫁に応じられないと、企業が負担を強いられる。自身の給料も上がらず、サービスの値上げもできない負のスパイラルに陥っているのが我が国の経済状況であり、これが打開できない限り景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	輸送業（エリア担当）	・荷物量が年明けから減っている。能登半島地震の影響か、一般の荷物が減っている。2024年問題もあり撤退する輸送パートナーもあるが、同じ金額では穴埋めが集まらなくなっているため、経費は増加している。
<input type="checkbox"/>	通信業（法人営業担当）	・物価上昇、賃金横ばい、買い控えにより投資困難な状況下で、企業、個人共に気持ちだけでなく懐も寒い。状況が好転する期待ができない。
<input type="checkbox"/>	金融業（従業員）	・一時は株価が上昇していたが、近頃は変わらない。年始の能登半島地震等もあり、今後も変わらない。
<input type="checkbox"/>	金融業（企画担当）	・特に、中小企業において仕入価格の上昇を販売価格に転嫁し従業員の給与アップにつなげることができなければ、当面現状の景気が続く。
<input type="checkbox"/>	不動産業（経営者）	・今後も新型コロナウイルス感染症に対する不安は更に解消して、外出や遠出をする人は増加していく。売上は増加して前年を上回る状況も継続していく。
<input type="checkbox"/>	広告代理店（制作担当）	・新規の企画等も単発的な案件が多く、企業側に積極的な動きが余りみられない。

		公認会計士	・年末年始の需要が落ち着き、大きく変わることはないとする。企業の賃上げがどこまで実現するかにより個人消費に大きな影響が予想されるが、恐らく中堅・中小企業はそこまで大きな賃上げは実現できないとみる。人手不足による機会喪失も、サービス業、飲食業、観光業、建設業など様々な業種で顕著になり、景気は余り変わらないと考える。
		会計事務所（職員）	・昇給の時期になり、賃金の上昇圧力が強いので事業主は賃上げを予定している。ただし、給与の上昇に合わせて社会保険料や税金も上がっていくため、手取りではそれほど上がらない。万一のため支出を控える傾向は、変わらないのではないかと。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少しており、数量の減少が見込まれる。
		建設業（経営者）	・政治の体制に問題がある。向かっている方向は良いと思うが、政策の進め方からは、我が国が良くなるようにはみえない。
		輸送業（経営者）	・モノへの消費拡大の気配がみられない。また、物流2024年問題により、4月以降外注費の上昇が見込まれる。
		不動産業（開発担当）	・工事費の上昇が止まらない可能性がある。引き続き上昇すれば、景気は悪くなる。
		行政書士	・物流の方向性が変わっていく。
		会計事務所（職員）	・客単価が下がり以前ほど利益が取れない状況が見られる。経営資金の捻出に固定経費の削減が必要などでは、店舗や設備の削減は難しいため、人員削減に踏み切る予定である。賃上げする体力もなく、経営状況は苦しくなる一方である。
		鉄鋼業（経営者）	・良くなるような話をする客が全くいない。1～3月に仕事量が増える予定も聞かない。
		通信業（総務担当）	・株価は上昇しつつあるが、庶民には無関係である。賃上げが必要である。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・コスト増加に対して、購読料の値上げや夕刊の発行取りやめといった抜本的な対策は何1つ進みそうにない。
雇用 関連 (東海)		—	—
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・年度替わりの時期であり、大規模な人事異動があることにより依頼も増えてくる。時代の流れにそったDX、IT知識を持つ人材の育成にも力を入れていることから、ニーズにそった提供ができるようになることにも期待する。
		人材派遣会社（社員）	・人材不足に対応し提示年収を上げる企業は多いが、より一層選考目線が高くなっている印象を受けるため、現況より好転するとは考えられない。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数の増加要因は多いが、求職者の増加が見込めないため、採用数に大きな変化はないと予想する。
		人材派遣会社（営業担当）	・景気が良くなりそうなポジティブなニュースが見当たらない。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・この地域では大手自動車メーカーの不正問題の影響はほぼないため、今後も自動車及び関連部品の生産は安定した推移を予想する。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・海外での戦争の長期化、能登半島地震等の要因があり、消費マインドは高くない。インバウンドの好影響も県内では限定的であるため、現状のままと考える。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・大手自動車メーカーの不正問題は、関連する製造業へ打撃を与えた。採用にも影響があると考えられる。
		職業安定所（所長）	・企業において人手不足は続いているが、物価高などにより収益が上がらないため新規雇用にはやや慎重な姿勢となっている。物価高などによる生活苦から求職活動をする高齢者が多く、この状況が続くことを懸念する。
		職業安定所（職員）	・原材料価格やエネルギー価格の高止まりは続く。物価が上昇するたびに商品価格へ転嫁するのは難しいため、利益確保には苦慮するとみる。仕事はあっても人手不足で請け負うことができない状況が続くと考える。
		職業安定所（職員）	・大手運送業での物流2024年問題に絡む事案や大手自動車メーカーの不正問題の影響について、管内企業から今すぐどうという話は聞かえてこないが、今後は影響が見込まれるという声もある。全体的な景気としては、大きく変わらないと予測する。

□	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は、足元と同程度で推移する見込みである。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・転職希望者の数は、年明けから3月初めぐらいまで右肩上がりと思定されるが、一部大手企業に応募が集中する一方で、中小企業は苦戦を強いられる。
□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・次年度も現時点で例年並みの求人資料が届いており、採用予定数や採用試験日程に特に変化はみられない。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・足元では企業等の新卒採用意欲は堅調に推移しているが、2～3か月先に更に良くなる要因は思い当たらない。
▲	人材派遣業（営業担当）	・政治への不安、物価高、大手自動車メーカーの不正問題等により先行き不透明な部分が多く、景気が上向く要素が見当たらない。
▲	人材派遣会社（社員）	・今月が良かった分、やや悪くなりそうな見込みである。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・自動車関連業界では、大手自動車メーカーの不正問題の影響が現れる可能性がある。
▲	職業安定所（職員）	・求職者、求人者の動向に加えて、雇用保険適用事業所数が55か月ぶりに減少するなど、事業継続困難等での廃業等が増加している。
▲	職業安定所（職員）	・求職者増加の割に、今のところ窓口の混雑度合いは比較的落ち着いているが、中東情勢、ウクライナ情勢の先行き不透明感、円安や物価高などで景気が上向きになる材料は乏しく、求人減少、求職増加の流れはしばらく続くと考えている。
×	—	—